

第 4 回食品用器具及び容器包装の 規制に関する検討会について



厚生労働省は、「食品、添加物等の規格基準(昭和 34 年厚生省告示第 370 号)」の改正に向け、第 4 回食品用器具及び容器包装の規制に関する検討会を平成 28 年 12 月 13 日に開催しました。

第 3 回に引き続いて、容器包装製造関係工業会からの事業内容と法制化に向けた要望に関する報告や、今後策定予定のGMPガイドライン案等について討議を行いました。

今回の議論内容

- (1) 事業者団体からの現状報告と要望の確認(下記 3 団体)
 - 一般社団法人 日本プラスチック食品容器工業会
 - PETトレイ協議会
 - 合成樹脂工業協会
- (2) 欧米への輸出における事業者間情報伝達について
- (3) 製造管理及び品質管理に関する実態調査結果
 - H27 年度厚生労働省実施アンケート結果報告
 - 器具・容器包装の製造に関する自主管理ガイドライン案

今後の予定

今回の検討会での各団体の報告を踏まえ、3 衛生協議会(ポリオレフィン等衛生協議会、塩ビ食品衛生協議会、塩化ビニリデン衛生協議会)のポジティブリストと異なる手法で自主規格を運用している協会等もある中での整合性の確保や、最終製品の評価方法、サプライチェーン全体を通じた共通認識の構築等について引き続き議論を行うこととなりました。

当社は、器具容器包装及びおもちゃに関する食品添加物の規格基準に準じた検査に対応しております。ご不明な点がありましたらお気軽にお問い合わせください。

資料 平成 28 年 12 月 13 日付 厚生労働省

研究開発箇所 加藤吉紀

